



誰もが「ずっと住みたい」と思えるまちづくりを

[塚口駅前開発プロジェクト「ZUTTOCITY(ズットシティ)」]

2016年4月にまちびらきした「ZUTTOCITY」は「周辺にずっと広がり続ける、ずっと住みたくなる街」をめざしています。暮らしに便利な駅ビルや駅前広場の整備により、駅を中心としたまちづくりを実現するとともに、公園や緑地を配置し、緑豊かで潤いのある都市環境を形成しています。またエネルギーマネジメントに積極的に取り組み、尼崎市から「尼崎版スマートコミュニティ^{※1}」に認定されています。更に、駅ビルやマンションを津波避難施設とし、街区の中心に防災倉庫を配置するなど、安全と安心を提供しています。

社内の声

駅から始まるまちづくりに取り組みます

「末永く愛されるまちにしたい」という思いで、駅とまちをつなぐ駅ビル開発に臨みました。初期の計画案では、駅ビルを通る駅からまちまでのスムーズな動線、駅前広場計画などが不十分で、駅を起点として広がるまちの重要な機能が不足していると感じたため、地域の発展につながるようすべきだと強く発信し、他事業者や自治体の皆様と協力しました。その結果、住民や地域の皆様が利用しやすい形にでき、自身の喜びと誇りにつながりました。

まちづくりは一見華やかですが、地道な協議の積み重ねです。これからも、住民や地域の皆様から喜ばれる「駅から始まるまちづくり」に誠実に取り組んでいきます。



JR西日本不動産開発(株)
都市開発部 開発Ⅱ課 係長
鳥羽 幹浩

社外の声

行政と連携して多様な主体をつなぐ コーディネート役に期待しています

「ZUTTOCITY」の開発にあたっては、環境モデル都市である尼崎市のビジョンを共有いただき、ゆとりと潤いのあるまちづくりをしていただきました。地域の強い要望であった駅へのバリアフリーが実現するなど、周辺にお住まいの方にも喜んでいただいています。ブランド力のあるエリアとなり、更に広がっていくよう、尼崎市としても取り組んでいきたいと思っています。

今後、駅を中心に、住居、病院や文化施設、商業施設などを集積したコンパクトシティ化が大きな流れとなります。JR西日本には、多様な主体が手をつなぐためのコーディネート役を行政と連携して担っていただくことを期待しています。

「ZUTTOCITY」で
市制100周年を
記念した人文字を作成



尼崎市長
稲村 和美 様

※1 スマートコミュニティ：街全体の電力の有効利用や再生可能エネルギーの活用などを、都市の交通システムや住民のライフスタイル変革にまで複合的に組み合わせた社会システム



地域ニーズを踏まえた医療提供を通じて 地域の皆様に親しみを感じていただける病院へ

[大阪鉄道病院、JR広島病院]

大阪鉄道病院・JR広島病院はかつて日本国有鉄道職員の健康を守ることを主として運営されてきました。現在は、広く一般診療を行っており、患者様をはじめ地域の医療機関・住民の方々とのつながりを大切に、皆様に安心してお越しいただける病院をめざしています。これからも幅広い医療提供を通じ、地域の健康を支える地域中核病院としての責任を果たしていきます。

社内の声

より身近に感じていただける 病院づくりを進めます

2015年の創立100周年の節目にこれまで支えてくださった地域の皆様や患者様に感謝の気持ちを伝えたい、との思いから「オープンホスピタル」の開催を提案しました。初の試みでしたが、地域の皆様や患者様が、当院に親しみを感じていただくきっかけになったと感じています。また、準備・運営を通じて社員間のコミュニケーションが広がり、チーム医療の推進につながる良い機会となりました。これからも誠実な医療提供、親切・丁寧な対応を大切にし、地域に開かれた病院をめざしていきます。



オープンホスピタル



大阪鉄道病院
副看護部長
田村 恵子

※2 オープンカンファレンス：地域の医療関係者を交えた研修会

※3 地域医療連携室：地域の医療機関から患者様の紹介を受ける、退院患者様の支援を行うなどの窓口を担っています

社内の声

人と人をつなぎ、だれもが安心して 暮らせる地域医療を実現します

病院は、「ホスピタル」の語源でもある「ホスピタリティ」の場です。当院は病気を治すだけではなく、例えば患者様とご家族が気軽に集えて話し合える環境の整備や、医療・介護職者を対象にした研修会、オープンカンファレンス^{※2}などで、地域の医療情報ネットワークの中心となる病院をめざしています。その中で私たち地域医療連携室^{※3}の使命は、人と人を「つなく」こと。だれもが住み慣れた土地で安心して「生き切る」ことができる、そんな地域医療を実現していきます。



医療福祉相談のための打ち合わせ



医療法人JR広島病院
地域医療連携室 副室長・副看護部長
竹井 里美